

**TAKEZAWA INDUSTRIES CO.,LTD.**

創造と前進のものづくり



会社案内

竹澤工業株式会社

## ■ 社是&amp;会社基本方針

**【社是】**  
明るく 楽しく  
無駄なく 美しく  
みんなに喜ばれる仕事

**【会社基本方針】**  
技術を軸に  
品質を輪にして  
奉仕する

## ■ 品質・環境方針

竹澤工業株式会社は、各種熱交換器、冷却器の製造にあたり、会社基本方針

「技術を軸に品質を輪にして奉仕する」

のもと、以下を実践し社会へ貢献します。

- ◇ 熱交換器の性能、安全性、信頼性、品質について、顧客の要求事項及び適用規格を満足した製品を供給します。
- ◇ 資源・エネルギーの節減など、環境に配慮した生産により環境保全・保護並びに環境改善に取り組み、汚染を予防します。
- ◇ 適用される法令、規制を順守します。
- ◇ 品質及び環境目標を設定させ、パフォーマンスの達成に繋がります。
- ◇ 品質及び環境マネジメントシステムの継続的な改善に取り組みます。

2023年 2月24日  
竹澤工業株式会社  
代表取締役社長 和佐田 憲彦

商号	竹澤工業株式会社												
事業所所在地 及び規模	<p>本社 神奈川県横浜市戸塚区平戸四丁目14番21号 TEL 045-822-3271(代) FAX 045-822-3245 敷地 1,140㎡(345坪) 建物 300㎡(91坪)</p> <p>群馬工場 群馬県富岡市内匠1007番地 TEL 0274-64-5851(代) FAX 0274-64-5889 敷地 13,464㎡(4,073坪) 建物 3,335㎡(1,009坪)</p> <p>従業員 39名</p>												
設立	昭和35(1960)年12月26日												
資本金	3,900万円												
役員	<table> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>和佐田 憲彦</td> </tr> <tr> <td>常務取締役工場長</td> <td>新井 博重</td> </tr> <tr> <td>取締役副工場長</td> <td>栗山 典明</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>竹澤 久美子</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>大矢 義人</td> </tr> <tr> <td>監査役</td> <td>宮脇 保</td> </tr> </table>	代表取締役社長	和佐田 憲彦	常務取締役工場長	新井 博重	取締役副工場長	栗山 典明	取締役	竹澤 久美子	取締役	大矢 義人	監査役	宮脇 保
代表取締役社長	和佐田 憲彦												
常務取締役工場長	新井 博重												
取締役副工場長	栗山 典明												
取締役	竹澤 久美子												
取締役	大矢 義人												
監査役	宮脇 保												
売上高	6億円(2022年度)												
主要取引先	<p>川崎重工業株式会社 川崎エンジニアリング株式会社 テックプロジェクトサービス株式会社</p>												
主要製品名	<ul style="list-style-type: none"> <li>船舶用向けディーゼルエンジン用過給空気冷却器及び蒸気式空気加熱器</li> <li>陸上発電機向けディーゼルエンジン用過給空気冷却器</li> <li>発電機用水素ガス冷却器</li> <li>発電機・電動機用空気冷却器</li> <li>空冷式タービン排気復水器</li> <li>ラジエータ</li> <li>空冷式高圧蒸気復水器</li> <li>空冷式熱交換器(高圧・低圧)並びに各種熱交換器</li> <li>製缶・機械加工品</li> </ul>												

## ■ 沿革

昭和27年11月	東京都江東区にて建築金物製作専門工場として発足
昭和35年12月	資本金300万円で有限会社竹澤鉄工所を設立、事業を継承
昭和37年 2月	株式会社に組織変更し、企業近代化、将来の発展のため、竹澤工業株式会社に改称
昭和40年10月	川崎重工業株式会社殿の協力工場として、熱交換器部品の製造を開始
昭和48年 4月	川崎重工業株式会社殿より認定工場の指定を受け、小型熱交換器の部品から組み立てまで一貫製造開始
昭和62年10月	小型熱交換器用プレートフィン打抜き機を導入
平成 4年 5月	群馬工場に小型熱交換器の一貫生産体制を確立し、経営基盤の再構築を図るべく、東京工場を移転
平成 6年 1月	(財)日本海事協会の船舶用事業所承認第一号の承認を得る
平成10年 4月	(財)日本海事協会より ISO9001品質マネジメントシステムの認証を取得
平成11年 5月	運輸省(現 国土交通省)の排気タービン過給機の空気冷却器に関する船舶安全法6条ノ2による製造事業場の認定を取得
平成12年10月	資本金3,000万に増資
平成13年 3月	経営基盤の再構築を図るべく、群馬県富岡市内匠に新工場を建設
	カワサキプラントシステムズ(株)(旧 川崎重工業(株))殿の大型空気式熱交換器の管束の製造を開始
平成16年 1月	群馬労働局より第一種圧力容器製造に関する許可を受ける
平成21年 6月	(財)日本海事協会より ISO14001環境マネジメントシステムの認証取得
平成22年 8月	資本金3,900万に増資
平成25年 2月	第一回社債発行(引受人:(株)商工中金殿)
平成 27年 1月	(一財)発電設備技術検査協会より 電気工作物の溶接部に関する民間製品認証(火力)溶接施工工場プロセス認証を取得
平成27年 7月	プレス工場増築
令和 2年12月	群馬工場 敷地拡大

## ■ 主要納入先(五十音順)

前記主要取引先経由で、次のお客様に納入しております。

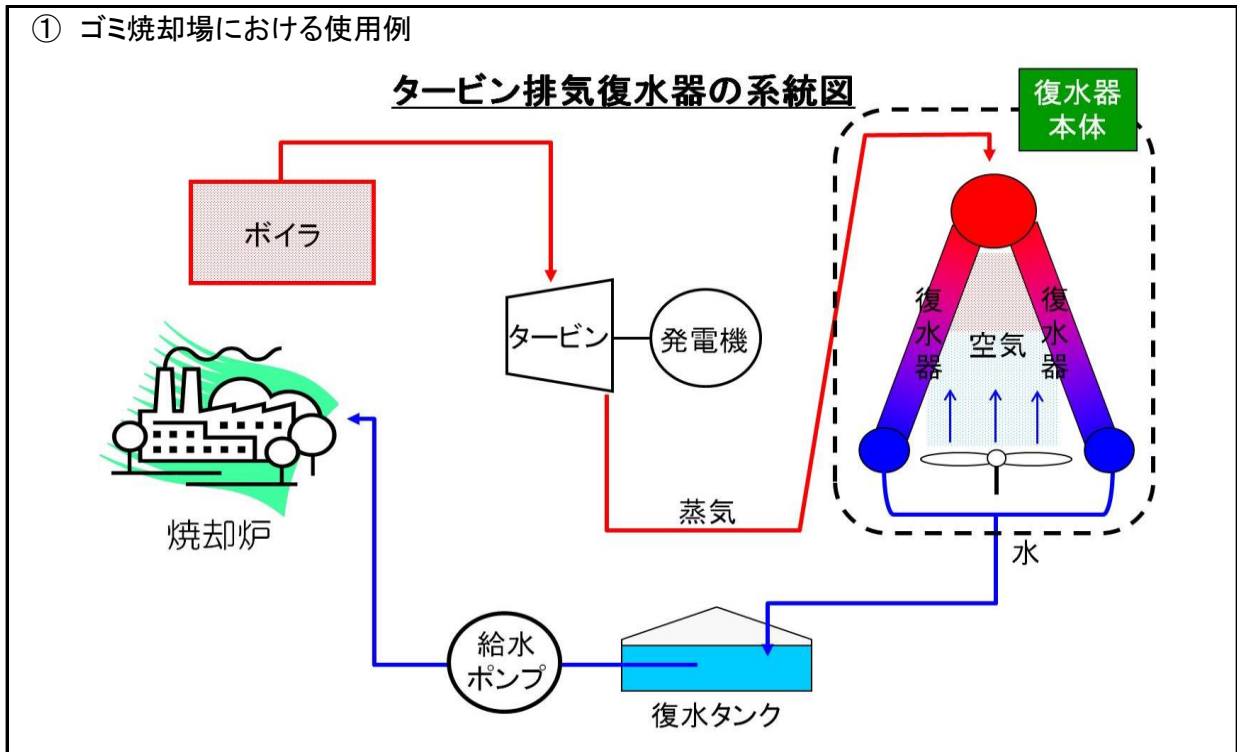
株式会社赤阪鐵工所	株式会社荏原製作所	川崎重工業株式会社
株式会社ジャパンエンジンコーポレーション (旧 神戸発動機株式会社)	JFEエンジニアリング株式会社	新日本製鐵株式会社
住友重機械工業株式会社	ダイハツディーゼル株式会社	株式会社タクマ
株式会社IHI原動機	株式会社日立製作所	株式会社アイメックス
富士電機株式会社	株式会社マキタ	三井E&Sマシナリー株式会社
三菱重工業株式会社	ヤンマー株式会社	

当社は、お客様の設計に基づき、各種熱交換器並びにその他各種機器を製造しております。

## ■ 大型製品紹介

主としてゴミ焼却施設における蒸気を空気で凝縮し回収する用途に使われています。  
もちろん、ゴミ焼却施設に限らず、一般の工程におけるプロセスクーラーとしても採用されています。

### ① ゴミ焼却場における使用例



### ② 空冷式蒸気復水器

(設置前)



(設置後)





③ 低圧蒸気復水器  
(設置前)



(設置後)



④ その他  
高圧蒸気復水器



ラジエーター  
(プレートフィンタイプでコンパクト化を図っています。)



地熱発電機向け空気冷却器(チューブ、管板、ヘッダー等の耐圧部は全てSUS製です。)  
利用が拡大している再生可能エネルギー“地熱発電”。  
将来、設置数が増える事が見込まれます。



主として、船用・陸発用ディーゼルエンジンの過給空気冷却や発電機並びにモーターなどの機器内の熱交換に利用される空冷式熱交換器です。

① 船用ディーゼルエンジン 過給空気冷却器(ダクト付き)

当社では、コンパクトフィンチューブを採用した経済性 / 信頼性に優れた空気冷却器を提供しております。

特に大型ディーゼルエンジン用では国内トップシェアを誇っており、世界の輸送動力の一端を担っております。

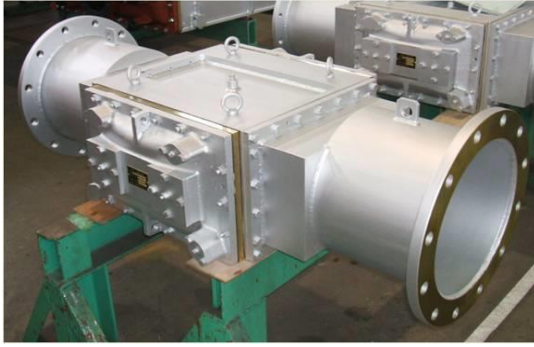


船用ディーゼルエンジン 製品使用例

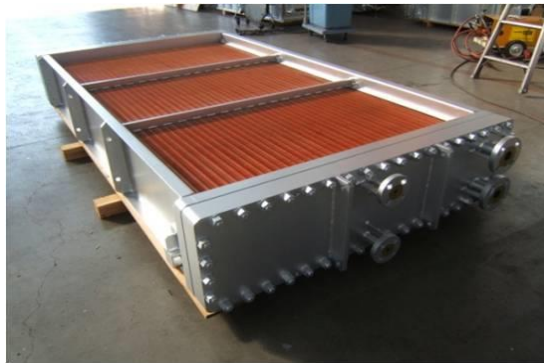




## ② 船用ディーゼルエンジン用 過給空気冷却器(単体)



## ③ 船用ディーゼルエンジン用 給水加熱器



## ④ 発電機・モーター用冷却器

・発電機用空気冷却器



当社の実績では、製品寸法の一例とし、  
W:1400mm × H:500mm × L4700mm  
があります。

・水素ガス冷却器



水素ガスが充填されるため、高度な気密性が要求されること。取り合い寸法や水平度に厳しい要求があること。など、高度な品質を要求される製品です。

そのような条件下で、製品寸法が最大でL寸法9400mmまでの実績があります。



⑤ EGR空気冷却器 **NEW!!**

## ⑥ その他の発電機用冷却器

その他、様々な仕様、大きさの製作に対応可能です。



⑦ 関連設備

復水タンク(SS) 1300A × 6500L



復水タンク(SUS) 1300A × 4700L



蒸気分配管 1200A



管束/架台



復水配管(エルボ付) 500A



コモンベッド(モータ・減速機込み)



■ 認証及び製造許可

- ISO9001認証取得(日本海事協会 NO.98-117)
- ISO14001認証取得(日本海事協会 NO.09-113E)
- 国土交通省製造事業者認定 第713号
- 日本海事協会事業所認定 第1号
- 厚生労働省 第一種圧力容器製造許可工場
- 電気事業法 電気工作物の溶接施工法認証(火力)
- 電気事業法 電気工作物の溶接部に関する民間製品認証(火力) 溶接施工工場プロセス認証 (NO. GPC-055)

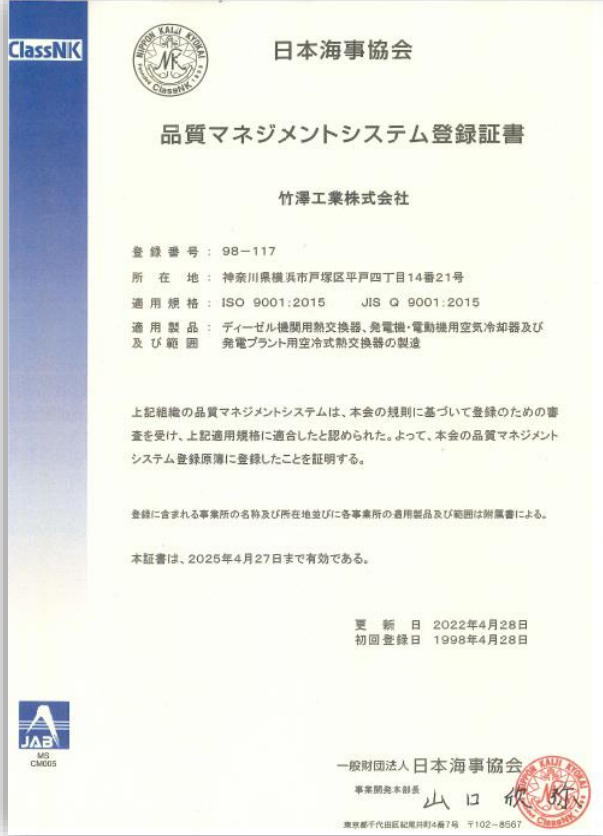
■ 有資格者

船用機器製造工事管理者	6	名
電気工作物の溶接士(火力)	7	名
電気工作物の自動溶接オペレーター	2	名
特別ボイラー溶接士	2	名
普通ボイラー溶接士	4	名
日本海事協会(NK) 溶接士	12	名
日本溶接協会 JIS溶接士 SC-3F	2	名
日本溶接協会 JIS溶接士 SA-3F	2	名
アーク溶接特別教育	24	名
ガス溶接技能講習	18	名
産業ロボット特別教育	8	名
非破壊検査 PTLレベル2	1	名
非破壊検査 PTLレベル1	4	名
非破壊検査 PDLレベル2	1	名
非破壊検査 PDLレベル1	3	名
有機溶剤作業主任者	5	名
クレーン運転士	6	名
クレーン運転士(5t未満)	29	名
玉掛け技能	37	名
フォークリフト技能講習	38	名
高所作業特別教育	4	名
プレス作業主任者技能講習	3	名
低圧電気特別教育	3	名
危険物取扱者	3	名
特定化学物質作業主任者	2	名
第一種衛生管理者	1	名
第二種衛生管理者	1	名
職長等教育	13	名
公害防止管理者	2	名

ほか

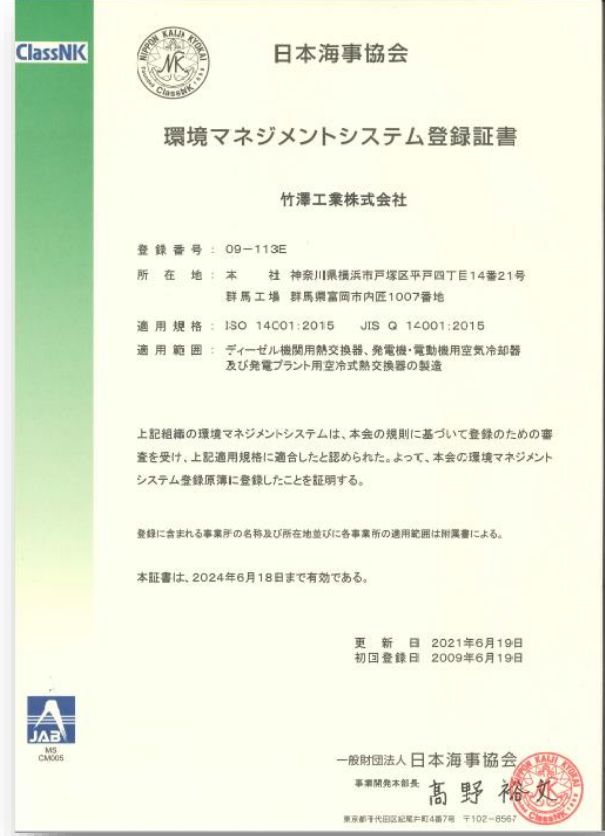


ISO9001

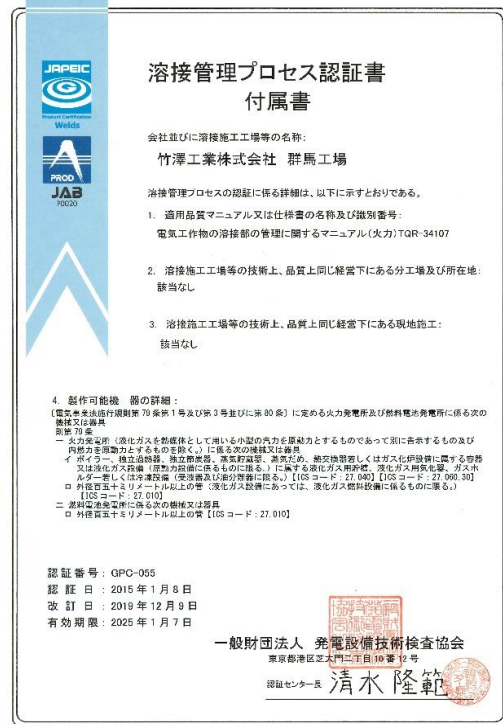


「登録事業所1:群馬工場」を含みます。

ISO14001



電気工作物の溶接部に関する民間製品認証(火力) 溶接施工工場プロセス認証



## 工場全景



## 主要設備

フィン巻付け機	2	台	旋盤	1	基
チューブ切断機	1	台	NC横中グリフライス盤 2000×1500×1450	1	台
管端シール自動溶接機	3	台	CNC複合フライス盤 2000×640×850	1	台
管寄溶接ロボット	2	台	縦型フライス盤 2200×500×750	1	台
フレーム溶接ロボット	1	台	ベット型フライス盤 1600×460/900×420	1	台
高圧温水洗浄機 80℃ 8MPa	1	台	ラジアルボール盤 2.0m	1	台
気密テスト水槽 (13.3m×3.95m)	1	基	ラジアルボール盤 2.0m	1	台
気密テスト水槽 (3.46m×1.96m)	1	基	ラジアルボール盤 1.6m	1	台
電動水圧テストポンプ 5MPa	1	台	水圧拡管機装置 700MPa	2	台
天井走行クレーン 2.8t	6	基	予備拡管機	3	台
天井走行クレーン 7.5t	1	基	各種エキスパンダ装置	4	台
天井走行クレーン 15t	1	基	プレートフィン打抜プレス機 100t	1	台
屋外橋形クレーン 10t	1	基	プレートフィン打抜プレス機 50t	1	台
エアコンプレッサー 22kW他	4	台	歪取り機 40t	1	台
TIG溶接機	15	台	歪取り機 150t	1	台
半自動溶接機	14	台	組立用定盤(SS) 1.8m×3.06m	7	台
パルス半自動溶接機	1	台	検査用定盤(FC) 3.0m×4.0m	1	台
アーク溶接機	3	台	塗装ブース	2	基
プラズマ切断機 定格出力50A	2	台	フォークリフト 2.5t	1	台
電動式溶接用アーム	2	基	フォークリフト 3.5t	1	台
ターニングローラー 5t用	1	台	ポジショナー	2	基
ターニングローラー 10t用	1	台	バンドソー 最大間口400mm	2	基
水圧テストポンプ 50MPa	1	台	高速カッター	3	基
			引張り試験機 100t	1	基

竹澤工業株式会社

□ 本社 木 〒244-0802  
神奈川県横浜市戸塚区平戸4-14-21  
TEL 045-822-3271

□ 群馬工場 〒370-2331  
群馬県富岡市内匠1007番地  
TEL 0274-64-5851

■ アクセス

□ 本社

電車の場合 JR横須賀線 東戸塚駅 徒歩20分。

□ 群馬工場

電車の場合 JR上越新幹線・信越新幹線・高崎線 高崎駅にて上信電鉄(私鉄)に乗換え。  
上州富岡駅(高崎駅から約40分)下車、タクシー約10分(3.7km)。

自動車の場合 上信越自動車道 富岡I. C. から、約5分(2km)。

